

2024.4.27-5.6

ふじのくにごせかい演劇祭2024

今年ドイツの演出家トーマス・オスターマイアー率いるシャウビューネの最新作が来日を果たすほか、日本の演劇界を支える演出家たちが集います。また、「グランシップこどものくに」とのコラボレーション企画として、SPACと親交の深いカメルーン出身の振付家メルラン・ニヤカムによるソロパフォーマンスもラインナップ！

- 『友達』 演出：中島諒人 作：安部公房【演劇／静岡・鳥取（日本）】
- 『榎山節考』 上演台本・演出：瀬戸山美咲 原作：深沢七郎【演劇／富山（日本）】
- 『かちかち山の台所』 演出：石神夏希【回遊型演劇／静岡（日本）】
- 『かもめ』 演出：トーマス・オスターマイアー 作：アントン・チェーホフ【演劇／ベルリン（ドイツ）】
- 『マミ・ワタと大きな瓢箪』 演出・振付・出演：メルラン・ニヤカム【ダンス／パリ（フランス）】



今年も「ふじのくにごせかい演劇祭」と同時開催 **ふじのくに野外芸術フェスタ2024静岡**

SPAC芸術総監督・宮城聡が岡倉天心の幻のオペラを今に蘇らせる。新作『白狐伝』を駿府城公園にて野外上演！また、ストリートシアターフェス「ストレンジシード静岡2024」では、演劇のみならずドラマ脚本なども手掛ける劇作家・演出家の三浦直之が、静岡の街を舞台に市民参加劇を創作します。

SPAC新作 **『白狐伝』**

5/3[金・祝]～6[月・休] 各日19:00開演  
会場：駿府城公園 紅葉山庭園前広場 特設会場  
演出・台本：宮城聡 作：岡倉天心（『THE WHITE FOX』） 音楽：棚川寛子



『天守物語』（2023年）より 撮影：平尾正志

ストレンジシード静岡2024 / コアプログラム **『パレードとレモネード』**

5/4[土・祝]～6[月・休] 各日11:00開演  
会場：青葉シンボルロードB3  
テキスト・演出：三浦直之（口口）



撮影：阿部章仁



**トーマス・オスターマイアー**  
Thomas Ostermeier  
1968年西ドイツ生まれ。演出家。31歳の若さでドイツを代表する劇場ベルリン・シャウビューネの芸術監督に就任。古典から同時代作家の尖鋭的な作品まで幅広く手掛け、毎年世界各地の演劇祭や劇場に招聘されている。

**ベルリン・シャウビューネ**  
Schaubühne Berlin  
1962年設立。現在ではドイツ語圏で最も有名な劇場のひとつとなっている。常時約30人の俳優がアンサンブルを組んでおり、毎シーズン約10本の新作、30本以上のレパートリー作品を入れ替わりで上演するほか、海外での上演は年間約100公演にもおよぶ。「ふじのくにごせかい演劇祭2018」にて13年ぶりの来日を果たし、「民衆の敵」を上演。大入りとなった客席を巻き込む圧巻の演技で好評を博した。

世界が支持する演出家オスターマイアー  
ベルリン・シャウビューネの最新作は静岡でしか観られない！

チケット入手最難関の舞台はトーマス・オスターマイアー演出。彼はベルリンの名門劇場シャウビューネを1999年より率いるアーティスティックディレクターでもあるが、チケットが取れないのはベルリンだけの話ではない。ドイツ全土、欧州各地のフェスティバル、世界各地のツアー公演、いずれの地でも満員札止となる。オスターマイアーが世界で支持される理由、それは舞台を、時代も国も超えて客席と地続きにしてみよう力業にある。欧州でよく見られる古典戯曲の演出法に、設定を現代にしたり、舞台美術を別世界に設えたりして、観客へ戯曲を近づける読替演出というものがある。しかしオスターマイアーの力業とはこれとは全く無縁で、観客へ近づけるのは俳優である。

『かもめ』では、客席から手を伸ばせば俳優に触れられるほどの距離感なので尚更である。その俳優はというと、相手役との、そして観客との化学反応を楽しむかのように自由で、時に即興演技を仕掛けてくる。オスターマイアーの舞台は、観客が変われば舞台も変わる、ゆえにリピーターが絶えず、ロングラン公演となつてゆくのだ。役の人物像の精緻な描写は、まさに「神は細部に宿る」という言葉がぴったりで、そこそが語りに説得力を帯びさせ、今そこに生まれる感情を描ききる。

オスターマイアーが自身の演出においてどれだけ観客を重視しているか、それはコロナ禍におけるシャウビューネの発信にも表れていた。ロックダウンにより閉鎖された欧州の劇場は、どこも配信に注力したが、シャウビューネは無料ながらも、配信時間を欧州時刻の夜に限定した。そして世界中の芸術監督達とオンライン会議システムにてシンポジウムを繰り広げたが、オスターマイアーは一貫して、演劇は観客ありきと説き、無観客収録に疑問を投げかけた。彼のこうしたスタンスと物作りの精神は、コロナ禍後、シャウビューネに新たな客層をもたらした。そしてまた、チケット入手が激戦となったのである。ベルリンですらチケットの買えないこの最新作、静岡でぜひ堪能してほしい。

庭山由佳／ベルリン在住  
（舞台制作・ドラマツルク・劇評）



©Gianmarco Bresadola

**ふじのくにごせかい演劇祭2024**  
**『かもめ』**【演劇／ベルリン（ドイツ）】  
5/3[金・祝]～6[月・休] 会場：静岡芸術劇場  
演出：トーマス・オスターマイアー  
作：アントン・チェーホフ

詳細は、演劇祭特設サイトをご覧ください。 <https://festival-shizuoka.jp>  
**3月23日(土) 10:00 チケット一般前売り開始**  
ご予約・お問い合わせ SPACチケットセンター  
TEL : 054-202-3399 (10:00～18:00/休業日を除く) WEB : <https://festival-shizuoka.jp/ticket/> (年中無休)

舞台芸術公園から、四季のお便り **春は桜！園内には美しい「富士山と桜」が見られる絶景スポットもございます。**

舞台芸術公園は、SPACの活動拠点の一つ。園内には3つの劇場があり、現代へと受けつがれてきた劇場建築のエッセンスが盛り込まれています。そんな“生きた劇場博物館”でもある舞台芸術公園の背景となる世界の劇場の歴史を、せかいの劇場ミニミュージアム「てあとろん」では詳しくご紹介しています。自然豊かな園内を楽しむ「てあとろんデー」。次回は3月30日(土)開催です。SPAC俳優のガイドによる園内見学ツアーなど各種イベントのほか、「カフェてあとろん」のスペシャル営業も！詳細はSPAC公式サイトをご確認ください。

Instagramで園内の写真を発信しています

SPAC SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER  
そのほか最新情報は、SPAC公式サイトをご覧ください。 <https://spac.or.jp>

各種SNSにて発信中♪

LINE 公式アカウント